

## 授業科目

## 助産診断・技術学IV

担当教員名 中山 和美、白田 東平、金子 孝之	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

## 授業の概要

3年次の母性看護学実習で受け持った褥婦・新生児の事例を用いて助産診断を行うとともに母乳育児支援におけるケアを学ぶ。また、ハイリスク新生児の病態生理と治療について学ぶ。

## 授業の目的

褥婦ならびに新生児の助産診断と助産技術を学び、助産学実習につなげる。

## 学習目標

- 1 助産診断を用いて褥婦ならびに新生児のアセスメント・計画を立案する。
- 2 褥婦に必要な保健指導を計画立案する。
- 3 ハイリスク新生児の病態生理と治療が述べられる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	褥婦のアセスメント・計画立案	講義、個人ワーク	中山 和美
2	褥婦のアセスメント・計画立案	個人ワーク	中山 和美
3	褥婦のアセスメント・計画立案	発表・グループワーク	中山 和美
4	新生児のアセスメント・計画立案	個人ワーク	中山 和美
5	新生児のアセスメント・計画立案	個人ワーク	中山 和美
6	新生児のアセスメント・計画立案	発表・グループワーク	中山 和美
7	褥婦に必要な保健指導の計画立案	グループワーク	中山 和美
8	褥婦に必要な保健指導の計画立案	グループワーク	中山 和美
9	褥婦に必要な保健指導計画立案	グループワーク	中山 和美
10	褥婦に必要な保健指導計画立案	発表	中山 和美
11	母乳育児におけるケア	講義	中山 和美
12	母乳育児におけるケア	講義	中山 和美
13	ハイリスク新生児の病態生理と治療	講義	他
14	ハイリスク新生児の病態生理と治療	講義	他
15	まとめ	講義	中山 和美

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	別途提示します					
参考書	別途提示します					
その他の資料						

## 評価方法

筆記試験（50％）、グループワークへの参加態度・学習成果（50％）とする。  
なお欠席が多い場合は減点することがある。

## 履修上の留意点

課題意識をもって主体的に学習してください。

## オフィスアワー・連絡先

メールにて予定を確認しアポをとってください。  
連絡先：nakayama@nuhw.ac.jp